資料４

# 県立博物館の整備計画の経緯について

昭和６１年２月　**「三重県における博物館構想」（三重県文化審議会）**
センター博物館と５つのテーマの整備を提言

平成４～９年度　**「センター博物館」計画**
大規模な総合博物館として計画されたが、ハコもの整備凍結の方針により白紙となる

平成１０～１２年度　**「新しい博物館を考える懇話会」による検討**
県民参画型で自然然系に重点を置いた博物館として提言されたが、財政事情等により挫折

平成 14～１５年度　**「博物館整備検討プロジェクト会議」による提言**
コア博物館とサテライト（圏域博物館）が活動の両輪となる県民参画型の総合博物館。生涯学習施設・県総合文化センターとの連携を重視。

平成１６～１７年度　提言をうけて、新博物館整備検討業務等を実施。

平成 17 年３月　**「三重県立博物館整備方針」公表**
財政事情から博物館の建設を当面見送り、現博物館の改修（**暫定整備**）と**移動展示**を先行実施することとなる。

平成１７年度　暫定整備の内容を検討し、展示室・講座室の拡大・耐震補強を行うこととなる（整備費５～７億円の見込み）。

平成１８年度　暫定整備の基本設計・耐震補強計画策定の結果、改修経費が約１５億円必要なことが判明 → 整備内容の再検討へ

平成１９年２月　**野呂知事の公約公表**

平成１９年５月　県立博物館正面外壁タイル落下→緊急的措置の実施

平成１９年７月　三重県文化審議会開催 → 新博物館のあり方検討へ